

化学療法および放射線治療による性腺毒性のリスク分類表（男性）

男性 (治療関連による無精子症になるリスク)		低リスク	中リスク	高リスク
化学療法	Cyclophosphamide equivalent dose (CED)	☐ <4,000 mg/m ²	—	☐ ≥4,000 mg/m ²
		<4,000 mg/m ² : 約90%は精液所見正常	—	≥4,000 mg/m ² : 精子運動性低下 ≥8,000 mg/m ² : 無精子症が遷延・永続
	薬剤別	アルキル化薬	CEDの項で該当か所にチェックすること。	
		白金製剤	☐ CDDP<600 mg/m ² ☐ CBDCA ☐ L-OHP	☐ CDDP>600 mg/m ²
		アントラサイクリン	☐ DXR ☐ IDR ☐ DNR ☐ MIT	
		代謝拮抗薬	☐ 6-MP ☐ MTX ☐ Flu	☐ Ara-C ☐ GEM
		ビンカルカロイド	☐ VCR ☐ VBL	
		その他	☐ ETP ☐ BLM ☐ Act-D ☐ MMC	
	レジメン別	☐ ABVD ☐ CHOP ☐ COP	☐ BEP 2～4サイクル	☐ BEACOPP : >6サイクル ☐ 骨肉腫治療 ☐ ユーイング肉腫治療
化学療法＋放射線治療				☐ アルキル化薬＋骨盤照射 ☐ アルキル化薬＋精巣照射
				☐ TMZ＋頭蓋照射 ☐ BCNU＋頭蓋照射
造血幹細胞移植				☐ BU+CPA ☐ Flu+L-PAM
				☐ アルキル化薬＋全身照射
		☐ 放射性ヨウ素（I-131）		
放射線治療	全身照射			☐ 実施あり
	頭蓋照射			☐ ≥40 Gy
	骨盤照射			☐ 実施あり
	精巣照射	☐ <0.7 Gy	☐ 1～6 Gy	☐ 成人男性 >2.5 Gy
				☐ 小児 ≥6 Gy

（日本癌治療学会編 小児・AYA世代がん患者等の妊孕性温存に関する診療ガイドライン2024年12月改訂 第2版より一部改変）